

あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47.hp.infoseek.co.jp/



沖電気とその関連会社で働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られた「会」です。社員だけでなく、誰でも入れます。「憲法を職場に」を基本にサービスクラスの根絶や「命とくらしを守る」活動をしています。

「沖電気の職場を明るくする会」

《十一月の記念日》
二十三日・勤労感謝の日
以前は天皇の収穫祭の日
(新嘗祭・にいなめさい)
一九四八年から国民の祭日になり、勤労と生産を感謝しあつた日になりました。

人間らしい働き方が こんなにも破壊されている日本 働き方・働かされ方

はたらく者の 生活と命の危機

企業が儲けのために、正社員を減らし非正規社員を増やす。残業しても賃金を支払わない。賃金は上げないが、労働時間は増やす。成果主義で労働の密度を上げる。その結果が働く人の生活と命を危なくしています。政府も見過ごしてできない状態と認識し始めたが、政府・企業のは正の動きは見えてきません。

過労死

過労による労働災害の申請数は〇五年は、脳・心臓疾患・精神障害の合計で千五百二十五人で過去最悪です。正社員だけでなく派遣・請負労働者などでも「過労死」が広がっています。

不払い残業代

三年間で
六九三億円
全国の労働基準監督署が〇五年に是正指導して不払い残業代を支払った企業は一五二四社と過去最多になった事を厚生労働省が発表しました。

過去三年間には是正を受けた企業は四一四五社、中には二十億円を超えた企業が数社あります。

沖電気でも、〇二年に菅野基視さんの告発で労基署の指導があり約一億円を支払っています。(二面に関連記事)

厚生労働省は「高い水準の不払い残業の指導を強める」として、毎年十一月に賃金不払い残業解消キャンペーンを行っています。二十三日の勤労感謝の日には、フリーダイヤル0120・793・283で申告を受けています。

メンタルヘルス

六割の企業で 心の病が増加

〇五年の社会経済生産性本部・メンタルヘルス研究所の調査結果は「心の病は三〇代に集中して増加している」、増加の原因は「成果主義や目標管理制度が起因している」と推論して、仕事の仕方の改革を求めています。

また、独立行政法人「労働者健康福祉機構」が全国の労災病院で実施した〇五年度の

結果では「心の相談が職場の人間関係の悩みなどで一七%増加した」として「リストラで人が減り過重労働が職場の人間関係を悪化させている」と分析しています。

沖電気でも、〇四年の労使協議会で「三ヶ月間以上休む人が急増中で、休職中の六四%が精神的な原因、三年間で一・五倍化している」と報告され深刻です。昨年の長期休職者の五三人(労働組合発表)の大半が精神疾患と思われる。従業員が約五千五百人です。従業者が約五千五百人です。従業者が約五千五百人です。従業者が約五千五百人です。

労働時間

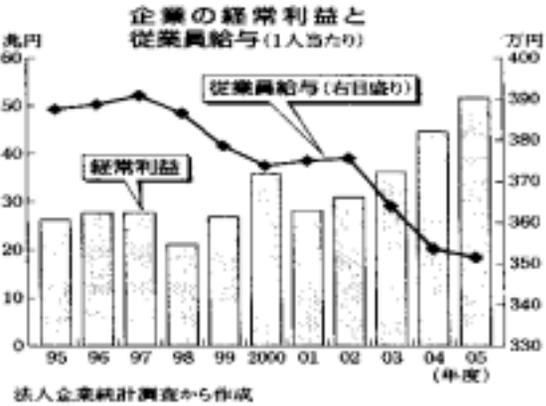
三〇代男性は過労死予備軍
週六〇時間が二五%

厚生労働省は、〇五年の労働時間の特徴として「労働時間の二極化が進んでいる」と報告をしています。労働者全体の二四%が週三三時間以上達しているが、三〇代の男性で週六〇時間以上働く人は約二五%に達して過労死予備軍化している。一〇年前と比べて五ポイントの増加です。

〇六年度の厚生労働省白書は「長時間労働の是正のためには経営者の意識改革が必要」「少子化の要因は育児世代の長時間労働」を挙げて、初めて「企業の働き方改革の見直しが必要」と述べ、仕事優先の職場風土を変革して、生活と

の調和(ワークライフバランス)の必要性を指摘した。国立女性会館の「家庭教育に関する国際比較調査」は、日本の父親が子どもと平日に

過ごす時間は三・一時間で、他国と比較して低く、母親に偏っていると分析されています。



企業の利益は 過去最高益を更新中

財務省発表の〇五年の法人企業統計調査によると、全産業の経常利益(売り上げ利益から販売費などを引いた営業利益)に営業外収支を加えた利益が五一兆六九二六億円と前年比一五・六%増ともうけを拡大しています。全従業員平均給与は九七年と比べて四〇万円減少しています。企業があげた利益が労働者・国民に還元されていない事が分かります。

アンケート調査に ご協力下さい

電機関連職場で働く人々の要求と、生活実態を調査するために毎年取り組まれているアンケート活動です。正規・派遣・パートを問わず皆さんの声を世論にしましょう。



走る

韓国映画「マラソン」は走ることを通して人間性を考えさせられ、主人公の「一途に走る姿」にとても感動しました。改めて自分の走ることにについて考えました。二四歳から走っています。きつかけは、会社の空手クラブに入り、部長に「昼休みに走るう」と誘われたことからでした。いつも五人くらいで走っていました。それが、それ以来五歳の現在も走っています。今年一月にスキーでひざの靭帯を切断してしまい、手術、入院と半年間走ることができなくなりました。その時、初めて筋肉が落ち細くなっていました。た足を思いました。日本運動生理学の第一人者、古藤高良医学博士が健康な人を二、三週間寝た状態にし、筋力を測定した結果、ふくらはぎ二〇、八%、上腕二頭筋六・六%が低下。それは、歩行が困難になるほどだといえます。入院中、身体の筋力低下を痛感しましたが、それ以上に今まで培ってきた精神力でリハビリを続けました。そして九月、「スキーもしていいですよ。やった方がいいです。」と担当医に言われました。この怪我を通して、自分を客観的に見られるようになりました。好きで走る、そして、走る姿を見た人から「毎日走っている、すごいね」と言われ、会社の守衛さんも気にとめてくれています。走ることは私にとって自信の源であり表現なのです。(茂)

「組合ぐるみ選挙 個人情報保護」 はどうなってるの？

沖ユニオン(労働組合)が来年の参議院選挙の特定候補の支持者カードへの記入活動を始めました。

「賛同していただける方は支持者カード記入のご協力をおねがいします」と組合からメールが配信されました。これに対して「個人情報などがどこまで使用されるのか、セキュリティが確立され、漏えいがないことの証明と利用目的の以外に使用しない確約の保障」など、質問が出されました。

組合の回答は「本カードの利用目的は支持していただける方の把握が主目的。訪問や、電話などは実施する予定は無いが、今後の上部団体の活動方針によっては(絶対実施しない)保証は約束できない。基本は後日お礼状を送付するために使用。心配な場合は氏名だけでも良いので、ぜひご協力ください」でした。これまでも「組織内候補」を抱え、「戸別訪問」「電話かけ」などに個人情報を利用されてきました。組合の政治啓蒙は結構ですが、個人の思想・信条が保障されることが大前提です。「組織ぐるみ選挙は」公職選挙法違反です。

国は医療費抑制が最優先 少子化なのに「お産難民」？

「病院で一番活気があるのは産科よ。だって、新しい命が生まれるんだもの！」と、今から一六年前、病院の中を忙しく動き回る看護師さんから聞いた言葉です。ところが現在、子どもを産む産院・産科が少なくなり、子どもをどこで生めるのか「お産難民」の問題が深刻になって

います。日本産婦人科医学会の調べでは、この二年間でお産をあつかう病院・診療所が三百二十九カ所減少しています。特に産科と小児科は勤務が不規則で激務なうえ、医療訴訟も多く、激減しています。産科は厚生労働省調べで、四人に一人が「診療を止めたい」の回答です。女性医師は増加している言われますが、実際は、子育てや職場



復帰に対する困難さが影響して、第一線を離れる医師が多くなっています。

日本の医師数は二十六万人ですが、経済協力機構基準で十二万人も不足し、無医師の産院も増加しています。少子化が社会問題になり国も対策をとっているはずなのに、妊娠して病院へ行っても「もういっぱいです」「予約は抽選です」など安心してお産ができないとは、おかしな話です。産科に限らず、医療に携わる人たちが仕事に集中できる環境作りも必要なのではないでしょうか。(ふ)

沖電気社長の「MBWA」 (歩き回るマネジメント=職場巡回)

10月に入り社長の経営方針の説明が行われました。「上期(4~9月)連結で116億円の大赤字、下期は相当頑張らなければいけない」とのことですが、社長として今までの方針に対する反省は聞かれませんでした。今回、初めて「質問タイム」が設けられ、各地区で何人かが手をあげ社長に質問をする、という場面もありました。

説明に賛否両論

【八王子】

10月13日に2回に分けて行われました。皇太子から「献血(日赤)で企業表彰」を受けている写真。東京大学(社長出身大学)での講演風景。ニューヨークでの松井秀樹(ヤンキース)の面会写真を示して社長としての仕事として誇らしく紹介しました。4月は王監督とヤフー球場での「始球式」の紹介でした。参加者からは「ミーハー的で社長の経営指針が伝わってこない」「直に社長が社員の質問を受け付けるなど親近感を覚える」などの賛否両論の声が聞こえました。

【富岡】

社長のMBWAが久しぶりに富岡工場で行われました。ここ数年、本庄工場で行われたものをVTRで見させられ、見ても集中できませんでした。今回MBWAの前に、工場の中を見て回った社長は「富岡工場の技術水準の高さには関心させられた。薄物の板金加工技術には目を見張るものがあった。生産性の向上もデータを見せてもらったが高速化・自動化で大幅に改善されていた」という主旨の感想から報告を始めました。

ひと通り報告が終わって、司会者が質問を呼びかけると3人の手があがりました。「中国生産が進む中での富岡工場のこれから」「07年問題対策」の2点の質問に答えた社長からは「沖電気の『もの作り』の中核工場として富岡を位置づけている」という発言があり、「その中核工場を支えている関連会社も含めた従業員を大事にして欲しい」と思いました。

やめてほしい 作業員識別の腕章

【本庄】

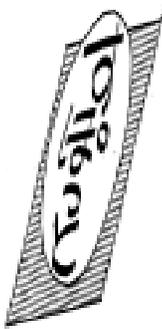
一〇月、篠塚社長の工場訪問を機に作業員を識別する大きな腕章の着用が始まりました。検査員、解析者、改革マン、Q、アップの四種類で見学に来た人が、一目で何をしている作業員かわかるようにというのが着用の理由です。スキーのリフト券入れと同様でかさばり、必要性も感じず「邪魔で困る」と不評です。問接員は付けていません。

職場には、作業エリア名の表示があり、それを見ればわかる話です。ウロウロするなというのであれば従業員を信頼してほしくないということでしょうか。また、社長訪問の対応で職場が綺麗になるのは良いことですが、「WELL CO ME」の看板など、見せかけではなくリアルな工場の姿を見てもらうほうが良いの声が多数です。

喫煙室をリニューアル 七号館にあるリフレッシュ ルームの喫煙室(二階から七 階)が外部業者が入ってリニュー アルされました。タバコのヤ ニで黄色に変色していた喫煙 室の壁が、真っ白になり「明 るくなったな」の声。前後 して六脚のソファも洗浄さ れ愛煙者に歓迎されています。

【八王子】

かつてに拘束時間を延長しないで
【沖エアフォルク】



東北沖が四分社されてから八年が過ぎました。沖エアフォルクの場合、労働条件は改善に次ぐ改善でしたが、今回、朝の「お掃除タイム」が設けられました。労働組合の手前「自主的」ということになっていますが、朝礼(八時二五分)の前十分間を充てるも

ので、組合のないエールテッ クスの人達は「縛られる」と 感じていて、拘束時間の「延 長」ではありません。 三年前、「一服(コーヒー・ タバコなど)の時間を設ける」 と言って十五分拘束時間が延 ばされました。「お掃除タ イム」をやるのなら「一服時 間」を元に戻せ」と、職場は 怒りの声でいっぱいです。

【東京】

好んで派遣労働者に
なった訳ではないのに
【派遣労働者】

近頃、働く貧困が国会やマスコミで話題です。「若者の半数が非正規社員でほとんどが年収三百万円未満の、生活保護基準以下で、結婚など社会生活ができない状態で社会問題だ」と。国が企業の要求で「労働者派遣法」を制定し、正規を減らし、派遣を増やした結果だと思えますよ。沖電気の本庄では時給千五百円ぐらいで働く派遣が多く、ワーキングプア(働く貧困)です。正規社員と同一の仕事

十月、都内で昨年六月に白血病で亡くなった「菅野さん」を偲ぶ会が開かれました。〇二年に沖電気東京の菅野さんはサーピス残業の自己管理記録により港区の三田労働基準監督署に申告・告発しました。この記録を基に参議院の吉川春子議員が国会の予算委員会へ追及。沖電気は不払い賃金を対象者に一億円支払いました。これを機に全国でサーピス残業告発の運動が進み、過去三年間で六九三億円の後払いがされています。出席した吉川議員は「氏名をだしての勇氣ある告発に感動しました。長時間労働の積み重ねが身体を弱らせ死期を早めた」と発言。参加者は、菅野さんを偲び、不払い残業根絶を誓い合いました。